

17 国産飼料の生産・利用拡大対策

【令和5年度予算概算要求額 1,027 (518) 百万円】

<対策のポイント>

高栄養価牧草の導入などの草地改良や飼料生産組織の運営強化、放牧及び未利用資源の活用等の国産飼料の一層の増産・利用のための体制整備、公共牧場等が有する広大な草地等のフル活用による国産飼料の生産・供給などの取組を支援し、飼料生産基盤に立脚した畜産経営の推進を図ります。

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 飼料自給率：25%→34%
- 繁殖雌牛の飼養頭数の増加（61万頭→80万頭）

<事業の内容>

1. 畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち国産飼料の生産・利用拡大 947 (438) 百万円

① 草地生産性向上対策

不安定な気象に対応したリスク分散技術の活用、高栄養価牧草の導入等により粗飼料の安定的な収量を確保するため、草地改良や飼料作物の優良品種利用・安定生産、飼料用種子の備蓄の取組を支援します。

② 飼料生産利用体系高効率化対策

飼料生産組織の作業効率化・運営強化や水田の排水条件の改善、地域ぐるみでの自給飼料の増産、子実用とうもろこし等の国産濃厚飼料の生産実証や生産モデルの確立のための取組を支援します。

③ 国産飼料資源利用拡大対策

持続的な畜産生産を推進するための放牧推進、放牧管理における省力化機器等の導入、未利用資源や新飼料資源の活用等促進・生産体制構築の取組を支援します。

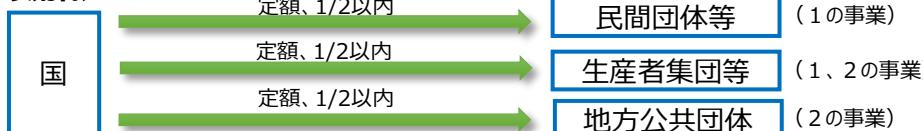
④ 持続的飼料生産対策

温室効果ガス削減飼料の効果や畜産物の品質への影響等のデータ収集・分析等の取組を推進します。

2. 公共牧場機能強化等体制整備事業 80 (80) 百万円

公共牧場等を管理・所有する地方公共団体及び生産者集団等が行う国産飼料を生産・供給するための草地改良、施設・機械整備、安定供給の確保及び優良な和牛を増産するための繁殖雌牛等の導入、施設・機械整備等を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 畜産生産力・生産体制強化対策事業

①. 気象リスク分散技術、高栄養価牧草の導入

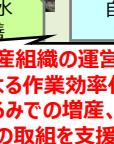
複数草種の導入等による収穫適期の拡大	6月	OG : 1番草
	7月	TY : 1番草
	8月	OG : 2番草
	9月	TY : 2番草

(注)OG : オーチャード、TY : チモシー

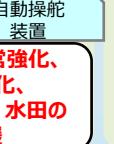
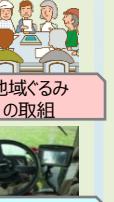
高栄養価牧草主体草地への転換



子実用とうもろこしの収穫



水田の排水条件改善



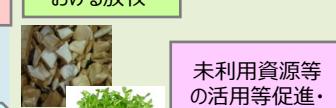
自動操舵装置

飼料生産組織の運営強化、ICTによる作業効率化、地域ぐるみでの増産、水田の活用等の取組を支援

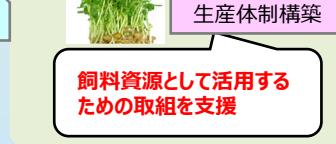
③. 放牧、未利用資源の活用



未利用地における放牧



未利用資源等の活用等促進・生産体制構築



飼料資源として活用するための取組を支援

2. 公共牧場機能強化等体制整備事業

①. 国産飼料の生産・供給 (公共牧場の「飼料生産基地」機能の強化)

草地改良・飼料生産等に係る施設・機械整備等を支援



草地改良に係る経費を支援

飼料生産組織等との連携や飼料の安定供給の確保のための取組等を支援

飼料供給先との供給計画に係る打合せ等

②. 優良な和牛の増産

繁殖雌牛等の導入による増頭を支援



繁殖雌牛 (和子牛生産)

増頭に必要な施設・機械の整備を支援

畜舎・繁殖関連機械等

[お問い合わせ先] (1の事業) 畜産局飼料課 (03-6744-7192)
(2の事業) 飼料課 (03-6744-2399)